

## 田舎の都市

「バリアフリー」って最近言葉歩きしていませんか？

お年寄りや体の不自由な人にやさしい街・人・建物を目指すものはずです。

街が都市化すると、それが実現するはずでした。

しかし、どうでしょう？

実現していると思っているのは、その街を創った人たちだけなのは？

実際、街を利用するお年寄りや体の不自由な人のほとんどは、

自分たちにやさしい街だとは、思っていない。

私の住む鹿児島は、まだまだ田舎です。

発展途上真っ最中です。

だからこそ、みんなが利用しやすいと思える街を目指して、

「ユニバーサルデザイン」とは、何かを考えて、

「田舎の都市」になってほしいです。

なぜ、都市がやさしい街を作ることができないのでしょうか？

それは、あまりにデザイン重視・設計重視になりすぎたからだと思います。

本来、目の不自由な人のためにあるはずの、誘導ブロック。

周辺との調和を考えて、同系色になっているところ、

はっきりしない色を使っているところ、たくさんあります。

健全者には何の不自由もないことでも、体の不自由な人には大変なことです。

同系色やはっきりしない色はで目の不自由な人には認識しづらく怖いのです。

足の不自由な人や、車いす利用者が安全に通れるはずのスロープ。

本当にその勾配はやさしいのでしょうか？

設計上、基準値ぎりぎり設計されたスロープ。

そこに、体の不自由な人を思う心はあるのでしょうか？

都会にはできなくて鹿児島にできること。  
それは、都市的デザインにこだわることなく、都会をまねることなく、  
田舎にしかできない、やさしい街づくりをすることだと思います。  
それが、私の考える「**田舎の都市**」です。

デザイン重視しすぎない  
目の不自由な人に認識しやすい誘導ブロック。

ゆったり勾配のスロープがある施設。

車いす利用者でも乗れる  
観覧車やアトラクションのある遊園地。

混雑していても怖くないよう、  
お年寄りや体の不自由な人専用の通路がある施設。

訪れた人の心をいやす  
鹿児島らしさ ~自然~が残る鹿児島。

これから新幹線が開通して、どんどん都市化の影響を受ける鹿児島。  
観光地として栄えてほしい。

そう思うのも事実です。  
しかし、そんななかでも、「田舎の都市」を目指して、  
体に不自由な人も気軽に足を運べる観光地「鹿児島」  
になってほしいです。